

(第3種郵便物認可)

# 容易にアユの個体数推計

## 山口大大学院などの研究グループ

### 川の水の環境DNAを活用

山口大や兵庫県立大学の大学院の研究グループは、英国科学誌「フレッシュウォーター・バイオリジリー」の電子版に4日付で、川の水に含まれる環境DNAから、そこにすむアユの個体数・生物量を容易に推計できる調査法を確立したと、発表した。

論文発表者は、山口大大学院創成科学研究科の乾隆帝特命助教、赤松良久准教授、兵庫県立大大学院シミュレーション科学研究科の土居秀幸准教授ら。環境省の環境総合研究推進費で実施した。

調べた結果、高い相関関係があることが導かれたという。

従来の河川での魚類の数や密度の測定は、今回

研究グループは、生物のふんや表皮から溶け出したDNA断片(「環境DNA」)を増幅・計測できる「リアルタイム合成酵素連鎖反応法」を用いて、生息地の水に含まれるアユのDNA量を測定。潜水による目視調査で得られたアユの個体数・生息密度との関係性を

現地調査は佐波川の7地点で昨年5〜10月の3回実施。潜水調査で確認された全ての場所の水から環境DNAが検出されただけでなく、アユによるコケの捕食跡しか見つからなかった所でも検出できた。

調べた結果、高い相関関係があることが導かれたという。現地調査は佐波川の7地点で昨年5〜10月の3回実施。潜水調査で確認された全ての場所の水から環境DNAが検出されただけでなく、アユによるコケの捕食跡しか見つからなかった所でも検出できた。

の人が実際に川に潜って調べざるを得ず、多大な時間や労力、コストが掛かることが課題だった。この手法を使えば、現地での作業は水をくむだけで済む。山口大大学院の同研究科では「生物調査だけでなく、河川における水質資源管理や生態系管理への応用が期待できる」としている。(神谷)

# 情報やまぐち

## 山口支社

〒753-0087  
山口市米屋町2-1 ウズビル  
編集・販売  
電話:(083)929-3181  
FAX:(083)929-3186  
広告・制作  
電話:(083)929-3312  
FAX:(083)929-3313

## 9日に第4回湯田温泉酒まつり

### 県内20の蔵が集結、日本酒を飲み比べ

第4回湯田温泉酒まつりは9日午前11時から午後5時まで湯田温泉2丁目の井上公園を主会場に開かれる。県内20の酒蔵が集結、利き酒チケットを購入すれば、各蔵自慢の日本酒の飲み比べを楽しめる。同まつり実行委員会主催。

市内の3酒蔵(金光酒造、新谷酒造、山城屋酒造)はもちろん、旭酒造の獺祭、澄川酒造の東洋美人、永山本家酒造場の貴、永山酒造の山猿など各蔵自慢の地酒がそろふ。

参加酒蔵の前掛けをアレンジしたグッズや酒まつりオリジナルTシャツの販売、地元飲食店によるグルメブースも出店する。

利き酒の前売りチケットは1500円。参加酒蔵、協力酒販店や飲食店のほか、eプラスで販売している。当日券は2000円。

問い合わせは同実行委員会(電話083-966-0045)。

# 学生の演奏

## 市老連 小郡支部 70人が学

山口市小郡みらい町の「長」と山口市小郡学芸大(加屋野洋学)に3日、市

